

平成21年4月 1日から  
平成22年3月31日まで

平成21年度（第63年度）  
事業報告書・決算書

財団法人 三越厚生事業団

## 平成21年度（第63年度）事業報告

本年度は、新法に基づく新たな公益財団法人に移行認定申請を行う為の具体的な諸準備を積極的に行ってまいりました。

5月には 今後申請に至るまで事業団として決議すべき事項とそのスケジュールを決め、8月には 現寄附行為に変わる新しい定款に盛り込むべき事業団としての基本事項を明確にし、12月には 定款変更の案について具体的審議を進めるとともに「公益財団法人移行認定後の最初の評議員の選任方法について決議し、東京都の認可を受けて 22年3月に最初の評議員の選任を行いました。また、新公益法人の会計制度再構築に向けての準備も着々と進め、22年秋の公益財団法人移行認定申請を目標に 21年度中に行うべき事項は計画通りに準備を進めることができました。

また、本年度は 高質な健診・高質な診療の実現に向けて 積極的に活動した年でもありました。

第一は 高性能眼底カメラへの入れ替え、聴力検査用ボックスの入れ替え、デジタルマンモグラフィ機器の導入、など 先鋭の高性能医療機器の導入により健診の質的向上とスピードアップを図りました。

さらに受診者への施設環境改善の一環として 18年振りに 健診センター並びに外来診療の待合室用ソファを 明るいカラーのゆったりした座り心地を体感できるソファに全面入れ替えを実施し 来診者のご満足いただける環境を整えました。

さらに、本年は 公益事業活動のさらなる強化に向かって果敢に挑戦した年であります。2年間中断いたしました、東京都の社会福祉施設への無料巡回健診事業を復活し 健診機会に恵まれない方々の健診をおこないました。また、年間7回東京都の各地で実施の健康講座については 比較的若年層の方々の参加を増進させることを目的に 若年層を意識したテーマと時期、会場を設定して従来にない企画で健康講座を2回展開いたしました。

公益財団法人三越厚生事業団として 社会の為に果たすべき役割と使命は何か、をより一層明確にするとともに、事業を更に進化させていくために 職員が一丸となって大きな目標をもって取り組んでいかなければならない、と決意を新たにしました1年でありました。

さて、当事業団の対処すべき課題ではありますが、最大の課題は、事業団事業収支をいかに改善していくかであります。公益法人として果たすべき公益目的事業への費用投資をしっかりと行いながら健診事業と診療事業共に収支のバランスのとれた事業構造に立て直すことが急務であり、明年度も引き続き 収支両面から 具体的な改善実施策をひとつひとつ実行してまいり所存であります。

I 寄附行為事項

1. 生活習慣病の予防、診断、治療に関する研究事業（寄附行為第4条第1号事業）

当事業団役員並びに職員による研究活動

(1) 臨床的研究の発表

平成20年度に実施した各種健診の統計的調査と観察成績を「事業年報」第36号に発表し、各職域健康保険組合及び関連財団法人等250団体へ配布した。

(2) 平成20年度各部門研究とその発表会の開催

○実施日 4月22日(水)

○会場 5階 三越総合健診センター

○発表 発表は10題で審査の結果以下の4題について表彰した。

最優秀賞 医・薬科 細合 浩司

「高コレステロール血症症例に対する低用量ロスバスタチン(2.5mg/日)投与の  
血中脂質および高感度CRPに与える影響」

優秀賞 医・薬科 横山 雅子

「頭痛と飲酒」

優秀賞 医・薬科 丸田 陽子

「インフルエンザワクチン接種後の抗体価推移」

職員特別賞 事務局 長津 秋彦

「健診・診療事業収支からみる事業団のあゆみ」

(3) 当事業団医師等職員の研究成果発表は以下のとおり。

①国際学会における演題発表

氏名	職種	参加月	名称	演題	開催地
Haruo Nakamura	医師	6月	XV International symposium on atherosclerosis 2009	The effect of pravastatin in the patients with chronic kidney disease combined with metabolic syndrome in primary prevention : A post hoc analysis of MEGA Study	アメリカ
Haruo Nakamura	医師	6月	XV International symposium on atherosclerosis 2009	Pravastatin reduced cardiovascular events and total mortality irrespective of dosages	アメリカ
Suzuki N, Yokoyama M, et al.	医師	9月	IHC 2009	Headache prevalence among a socially active population working in the Tokyo metropolitan area	アメリカ
M.Yokoyama, N.Suzuki, et al.	医師	9月	IHC 2009	Interactions between alcohol flushing, drinking frequency and migraine/ Tensions-type headache in Japanese	アメリカ

②当事業団医師の外部講演会（医師、医療従事者等への啓蒙活動）

氏名	参加月	名称	演題	開催地
船津 和夫	6月	第20回「コーヒーと健康」最新情報セミナー	コーヒーの脂肪肝予防効果	東京都
山下 毅	6月	西新宿保健センター	メタボリック症候群の予防 内臓脂肪とは？ その正体と危険性	東京都
細合 浩司	6月	新宿区・文京区 ARB高血圧学術講演会	臨床医家としてのOlmesartanの使用経験	東京都
船津 和夫	9月	第20回「コーヒーと健康」最新情報セミナー	コーヒーの脂肪肝予防効果	大阪府
中村 治雄	11月	第3回油化学セミナー	心血管疾患の予防戦略を考えるーコレステロールと脂肪酸	東京都
細合 浩司	11月	アドバンスファーマシー勉強会	高脂血症の薬物治療について（生活習慣病治療も含む）	東京都

③学会における演題発表

氏名	参加月	名称	演題
近藤 修二	4月	第106回日本内科学会講演会	Metabolic syndrome の男女による心機能の相違
細合 浩司 丸田 陽子	6月	第17回新宿医学会	インフルエンザワクチン接種後の抗体価推移
細合 浩司	7月	第41回日本動脈硬化学会総会・学術集会	Low dose rosuvastatin effects Hypercholesterolemia with decreasing manner of high sensitive CRP(hsCRP)
中村 治雄	9月	第50回日本人間ドック学会学術大会 第2回国際人間ドック学会 (ランチョンセミナー)	日本人における動脈硬化性疾患の一次予防ー食事・薬物
船津 和夫 他	9月	第50回日本人間ドック学会	脂肪肝の推移からみた臨床検査値の変動
中村 綾 他	9月	第50回日本人間ドック学会	聴力障害と血液代謝の関連
細合 浩司 丸田 陽子	10月	第57回ウィルス学会学術集会	インフルエンザワクチン接種後の抗体価推移ー製造元別考察を含む
鈴木 則宏 横山 雅子 他	11月	第37回日本頭痛学会総会	首都圏の勤労者における頭痛の実態に関する疫学調査
横山 雅子 鈴木 則宏 他	11月	第37回日本頭痛学会総会	片頭痛と緊張型頭痛患者におけるアルコールフラッシング反応と飲酒習慣
船津 和夫 他	1月	第38回日本総合健診医学会大会	非肥満者と肥満者における臨床検査値の変動

④当事業団医師の発表論文

論 文 名	氏 名	掲 載 雑 誌 名
LDL-3 fraction levels in patients with unstable angina: Assessment by anion-exchange high-performance liquid chromatography	Y.Momiyama, R. Kato, H. Nakamura, et al.	Atherosclerosis 2009;203:45-46
Effect of liquid-lowering therapy with atorvastatin on atherosclerotic aortic plaques: a 2-year follow-up by noninvasive MRI	A.Yonemura, Y. Momiyama, H. Nakamura, et al.	Europen J Cardiovas Prevention Rehabilitation 2009;16:222-228
人における動脈硬化性疾患の一次予防 ー食事・薬物	中村 治雄	人間ドック 2009;24:318
Pravastatin and cardiovascular risk in moderate chronic kidney disease	H.Nakamura, K.Mizuno,Y.Ohashi, et al	Atherosclerosis 2009;209:512-517
心血管疾患の一次予防におけるスタチンの有用性を確認	中村 治雄	MMJ2009;5:673
食事療法による心血管疾患の一次予防 ートクホ活用へのヒント	中村 治雄	メディカル朝日 別冊 第6回研究会セルフ メデイケーションを支援する会 2009;38:3
コーヒーに生活習慣病予防・抑制効果！ 第12回コーヒーサイエンスセミナーで最新 研究成果発表	船津 和夫	JMS 2008 ; 144 : 38-41
1日3杯のコーヒーが脂肪肝の発生をコント ロールする。 コーヒーとからだのおいしい話 2	船津 和夫 (分担執筆)	全日本コーヒー協会発行
コーヒーと健康。糖尿病の発症、脂肪肝を抑え るコーヒーの効果	船津 和夫	Coffee Fan 2008 ; 278 : 7-8
ひと目でわかる！ 健康診断	船津 和夫 (監 修)	ホーム・メディカ 安心ガイドWIDE版 (小学館)
Associations between headache and stress, alcohol drnking, exercise, sleep, and comorbid health conditions in a Japanese population	Masako Yokoyama, Tetuji Yokoyama, et al	J Headache Pain (2009) 10 : 177-185
潜在する頭痛 どういう啓蒙が良いのか？	横山 雅子	日本頭痛学会会誌, 36 : 181-187, 2009
Health risk appraisal models for mass screening for esophageal and pharyngeal cancer: an endoscopic follow-up study of cancer-free Japanese men	Yokoyama A, Yokoyama M, et al.	Cancer Epidemiol Biomarkers Prev 2009;18: 651-5.
インフルエンザワクチン接種後の抗体価推移	細合 浩司 丸田 陽子	新宿区医師会会誌pp9-10. 第567号第49巻8

第1号事業 総計 事業費 4, 156千円 予 算 4, 249千円

## 2. 生活習慣病その他重要な疾病の予防及び健康の保持増進に関する事業（同条第2号事業）

### (1) 集団健診事業（事業費 458,837千円）

#### ①集団健診

- ・空調機器の更新工事、受診者用ソファ等々の全面交換などの施設内環境整備の実施および検査機器類のデジタル化、オプション検査の充実化による診断精度の向上に努めた。
- ・地域、職域を対象とした総合健診活動及び家庭の主婦を中心とした女性健診を実施し、生活習慣病その他重要な疾病の予防及び早期発見に努めるとともに、健診結果に基づき健診者の生活指導を積極的にを行い健康の保持、増進に寄与した。
- ・平成21年度の実施状況は次のとおりである。

#### 集団健診

○生活習慣病健診	10,696名（前年度 10,358名）
○女性健診	2,472名（前年度 2,599名）
○生活習慣病健診特別コース	90名（前年度 90名）
計	13,258名（前年度 13,047名）

#### ②社会福祉施設無料巡回健診

- ・高齢者の健康維持、健康増進に資するため、一時中断していた都内の老人ホーム入所者を対象とした一般血液検査、心電図検査、胸部X線検査などの老人健診を三年ぶりに復活して実施した。
- ・実施施設は次のとおり。（3施設、145名を受診）
  - イ. 社会福祉法人邦友会 特別養護老人ホーム「新宿けやき園」（11/30・12/1実施、89名）
  - ロ. 社会福祉法人ケアネット 特別養護老人ホーム「やよいほうむ」（12/10・12/14実施 28名）
  - ハ. 社会福祉法人はとせふ特別養護老人ホーム「はるかぜ」（12/10実施 28名）

### (2) 生活習慣病健診報告懇話会（事業費 524千円）

- ・健診事業活動の更なる発展に資する為、当事業団で集団健診を行っている企業並びに健康保険組合の参加を得て、当事業団医師によるコーディネーターのもと、パネルディスカッション方式による報告会を開催した。当日は9名のパネリスト（厚生事業団職員6名、外部3名）から下記テーマに沿った報告をいただいた後、会場を交え活発な討論が行われた。

実施日：平成21年10月22日（木）

場所：エステック情報ビル21階「A会議室」、4階「AGORA」

参加人数：28事業所 44名

報告会：コーディネーター／中村 治雄（三越厚生事業団常務理事）

「より良い健診を育てるためには」

<参加の外部パネリスト>

- ・(株)三越日本橋本店医務室看護師 田村 亜希子氏
- ・三越健康保険組合事務長 松本 昭氏
- ・都市環境整美株式会社総務部長 谷口 進氏

### (3) 第2回健康推進事業研究援助金交付施設による研究成果報告会

20年度に研究援助金を交付した特別養護老人ホーム等の社会福祉法人3施設による「研究成果報告会」を次のとおり実施した。

開催日時：平成21年10月1日（木）17：15～

場 所：5階 三越総合健診センター

報 告：

①研究代表者：社会福祉法人福音会 医務室医療統括部長 栗田 明氏

研究課題：「認知症を有する後期高齢者に対する音楽療法の有効性の検討—  
殊に心臓自律神経能および細胞性免疫能を中心として」

②研究代表者：医療法人財団河北総合病院 リハビリテーション科理学療法士 足立 和恵氏

研究課題：「生活習慣記録機を用いた運動指導の有用性について」

③研究代表者：医療法人社団京浜会 京浜病院院長 熊谷 頼佳氏

研究課題：「アルツハイマー型認知症周辺症状の標準的治療法の確立と同症状改善を  
目的とした介護方法の開発」

第2号事業 総計 事業費 459,362千円 予 算 463,477千円

### 3. 生活習慣病その他重要な疾病の予防、診断、治療に関する助成事業（同条第3号事業）

- ・三越医学研究助成、海外留学渡航費助成ともに、応募対象を東京都内並びに東京都近隣4県（千葉、埼玉、山梨、神奈川）に所在の大学医学部、医学研究施設、病院等（東京都以外は300床以上）とし、450件のご案内先に対し5月初旬より公募を開始し、医学研究助成は20件、海外留学渡航費助成は2件の応募があり、厳正な審査を経て夫々助成対象者を決定した。

#### (1) 第37回三越医学研究助成（助成金総額 900万円）

平成21年度三越医学研究助成実行委員会開催

開催日：研究課題決定 4月17日（金）

審査員決定 9月 1日（火）

助成対象者決定 10月 2日（金）

①審査委員長 常務理事 中村 治雄

委員 常務理事 小野 俊一

三越診療所所長 船津 和夫

三越診療所副所長 山下 毅

国家公務員共済連合会立川病院 院長 篠原 幸人

慶應義塾大学医学部病理教室 教授 岡田 保典

順天堂大学医学部消化器内科 教授 渡辺 純夫

帝京大学医学部内科 教授 寺本 民生

東海大学医学部医学科 特任教授 本間 康彦

②研究課題の決定

- 研究課題1 「脳動脈瘤の成因と予防・治療」  
 研究課題2 「消化器病における幹細胞研究」  
 研究課題3 「生活習慣病の予防と管理（小児から高齢者まで）」

③選考会 上記テーマにおける各専門分野医師2名及び審査委員により選考を行った。選考に当っては応募者の研究機関名、氏名をブラインドにして評価。総合点により上位を選考し、助成金額案を付して理事長に推薦し決定した。

④贈呈式 11月4日(水)に三越日本橋本店6階「三越劇場」にて開催の「第29回健康セミナー」と併せて贈呈式を行い、助成金をそれぞれ交付した。

⑤助成対象者は以下のとおり

第37回 三越医学研究助成対象者

氏名	年齢	所属機関	課題	研究課題	助成金
赤川 浩之	36	東京女子医科大学 脳神経外科助教	1	家族性脳動脈瘤患者における常染色体優位性遺伝性多発性嚢胞腎疾患遺伝子(PKD1、PKD2)の変異解析	150万円
稲垣 豊	51	東海大学医学部 基盤診療学系 教授	2	骨髄幹細胞の動員と分化誘導に基づく肝線維化改善・再生促進治療法の開発	300万円
綾織 誠人	41	防衛医科大学校 内科学 助教	3	HDLを標的とした新規動脈硬化治療戦略ーコレステロール逆転送促進因子ABC G1の発現制御による動脈硬化発症・進展抑制をめざして	250万円
小川 佳宏	47	東京医科歯科大学難治疾患 研究所 分子代謝医学分野 教授	3	エピジェネティクスに注目した生活習慣病の新しい予防・管理戦略の確立に向けた分子医学的研究	200万円

- (注) 研究課題1 「脳動脈瘤の成因と予防・治療」  
 研究課題2 「消化器病における幹細胞研究」  
 研究課題3 「生活習慣病の予防と管理（小児から高齢者まで）」

(2) 第10回海外留学渡航費助成

海外での医学研究や医療技術習得を志す若手医学研究者の留学費用の一部として渡航費の助成を目的に公募し、7月の選考委員会を経て、対象者を下記のとおり決定し、11月4日に贈呈式を行い、助成金を交付した。

第10回 海外留学渡航費助成対象者

氏名	年齢	所属機関	留学先	研究課題	助成金
河原 裕憲	30	慶應義塾大学医学部 特別研究助教	ペンシルベニア 大学医学部発生 生物学教室	小型魚類母性効果変異体を用いた受精卵活性化分子機構の解明	100万円
岡田英次朗	32	川崎市立川崎病院 整形外科 副院長	カリフォルニア 大学サンフラン シスコ校	腰椎変性側弯症における椎間板変性の研究	100万円

第3号事業 総計 事業費 12,264千円 予算 13,932千円



#### 4. 保健衛生思想の普及（同条第5号事業）

##### (1) 健康セミナー・健康講座の開催

「生活習慣病」をテーマに、新聞等の媒体を介して広く一般の方々から参加を募り、健康セミナー及び健康講座を開催した。

<平成21年度開催結果>

回 数：11回（健康セミナー4回・健康講座7回）

前年 10回（健康セミナー4回・健康講座6回）

参加者数：延べ 2,466名（前年 2,676名）

内容は以下のとおり。

##### ○健康セミナー

###### ①第27回健康セミナーを開催した。

テ ー マ：「生活習慣病から身を守るには」

開催日時：5月22日（金） 午後1時00分～3時30分

会 場：三越日本橋本店6階「三越劇場」

主 催：財団法人三越厚生事業団

後 援：日本動脈硬化学会・日本人間ドック学会・毎日新聞社

第1部講演：演題「動悸・息切れ」

講師 水野 杏一氏

（日本医科大学内科学講座（循環器・肝臓・老年・総合病態部門）主任教授）

第2部講演：演題「足が冷える」

講師 中村 治雄（三越厚生事業団常務理事・防衛医科大学校名誉教授）

参加人員：478名

###### ②第28回健康セミナーを開催した。

テ ー マ：「生活習慣病から身を守るには」

開催日時：7月2日（木） 午後1時00分～3時45分

会 場：三越日本橋本店6階「三越劇場」

主 催：財団法人三越厚生事業団

後 援：日本動脈硬化学会・日本人間ドック学会・毎日新聞社

第1部講演：演題「脂質異常症の予防」

講師 中村 治雄（三越厚生事業団常務理事・防衛医科大学校名誉教授）

第2部講演：演題「高血圧の予防」

講師 大鈴 文孝氏（防衛医科大学校循環器内科教授）

参加人員：342名

###### ③第29回健康セミナーを開催した。

テ ー マ：「生活習慣病から身を守るには」

開催日時：11月4日（水） 午後1時00分～2時20分

会 場：三越日本橋本店6階「三越劇場」

主 催：財団法人三越厚生事業団

後 援：日本動脈硬化学会・日本人間ドック学会・毎日新聞社

講 演：演題「生活習慣病を防ぐ食生活」

講師 多田 紀夫氏（東京慈恵会医科大学大学院医学研究科栄養・代謝内科学教授）

参加人員：371名

###### ④第30回健康セミナーを開催した。

テ ー マ：「生活習慣病から身を守るには」

開催日時：2月19日（金） 午後1時00分～3時45分

会 場：新宿京王プラザホテル 南館4階「扇」

主 催：財団法人三越厚生事業団

後 援：日本動脈硬化学会・日本人間ドック学会・毎日新聞社  
第1部講演：演題「健康を守る食生活」  
講師 香川 芳子氏（女子栄養大学学長・医学博士）  
第2部講演：演題「長生きの秘訣」  
講師 中村 治雄（三越厚生事業団常務理事・防衛医科大学校名誉教授）  
参加人員：360名

#### ○健康講座

##### ①第20回健康講座を開催した。

開催日時：4月21日（火） 午後2時30分～4時00分  
会 場：江東区森下文化センター  
主 催：財団法人三越厚生事業団  
後 援：日本人間ドック学会  
講 演：演題 「動脈硬化についてー脂質異常症と脂肪毒性についてー」  
講師 細合 浩司（三越診療所部長）  
参加人員：189名

##### ②第21回健康講座を開催した。

開催日時：6月25日（木） 午後3時00分～4時30分  
会 場：ムーブ町屋「ムーブホール」  
主 催：財団法人三越厚生事業団  
後 援：日本人間ドック学会  
講 演：演題 「脈が乱れる（不整脈）」  
講師 近藤 修二（三越診療所部長）  
参加人員：165名

##### ③第22回健康講座を開催した。

開催日時：9月7日（月） 午後2時30分～4時00分  
会 場：野方区民ホール  
主 催：財団法人三越厚生事業団  
後 援：日本人間ドック学会  
講 演：演題 「生活習慣と動脈硬化～メタボリックシンドロームを予防するために～」  
講師 中村 治雄（三越厚生事業団常務理事・防衛医科大学校名誉教授）  
参加人員：134名

##### ④第23回健康講座を開催した。

開催日時：11月14日（土） 午後2時00分～4時00分  
会 場：東京国際フォーラム「hall D1」  
主 催：財団法人三越厚生事業団  
後 援：日本人間ドック学会  
講 演：演題1 「知っておきたい 食生活Vs病気の予防」  
講師 本田 佳子氏（女子栄養大学医療栄養学教授）  
：演題2 「若い世代からの生活習慣と病気」  
講師 船津 和夫（三越厚生事業団理事・三越診療所長）  
：演題3 「日常で手軽にできる運動」  
講師 斗米 馨（三越診療所 健診・診療部保健師長）  
参加人員：86名

⑤第24回健康講座を開催した。

開催日時：12月1日（火） 午後2時30分～4時00分

会場：ルネこだいら（小平市民文化会館）「レセプションホール」

主催：財団法人三越厚生事業団

後援：日本人間ドック学会

講演：演題 「進化・老化・動脈硬化」

講師 細合 浩司（三越診療所部長）

参加人員：116名

⑥第25回健康講座を開催した。

開催日時：1月28日（木） 午後2時00分～3時30分

会場：調布市文化会館たづくり「大会議室」

主催：財団法人三越厚生事業団

後援：日本人間ドック学会

講演：演題 「脈が乱れる（不整脈）」

講師 近藤 修二（三越診療所部長）

参加人員：142名

⑦第26回健康講座を開催した。

開催日時：3月26日（金） 午後6時30分～8時00分

会場：新宿スタジオアルタ「アルタスタジオ」

主催：財団法人三越厚生事業団

後援：日本人間ドック学会

講演：演題1 「若いからって油断は禁物！すぐに役立つ健康情報－コーヒーと生活習慣病－」

講師 船津 和夫（三越厚生事業団理事・三越診療所長）

演題2 「日常で手軽にできる運動」

講師 斗米 馨（三越診療所 健診・診療部保健師長）

参加人員：83名

(2) 生活習慣病予防の啓発、広報活動

①保健衛生思想普及のため、広報活動を次のとおり実施した。

- ・新宿区が発行する区民向け広報誌「暮らしのガイド」に当事業団の公益活動ならびに生活習慣病予防の啓発広告を掲載した。（21年3月より1年間）
- ・当施設が入居するエステック情報ビル内のプラズマディスプレイを利用し、生活習慣病予防ならびに健康診断の受診促進を図った。
- ・都営地下鉄新宿線の車内広告に、生活習慣病予防のための健康診断受診を促進する広告を掲示した。（平成20年12月26日より1ヶ年）

②事業年報の作成

平成20年度（平成20年4月～平成21年3月）に実施した集団健診、診療等の統計的調査と観察成績を「事業年報」第36号に掲載し、職域健康保険組合及び企業関係者、医療関係団体（病院・研究機関）、関連社団・財団法人等に配布した。

第5号事業 総計 事業費 18,052千円 予算 19,000千円

## 5. 診療施設の設置運営（同条第6号事業）

診療患者数延数、職域入社、定期健診延数は次のとおりである。

延総数 26,046名（前年度 26,485名）

### ①延数内訳

内科	20,135名（前年度 20,174名）
予防注射	1,215名（前年度 1,288名）
職域入社・定期健診 69社又は団体	3,929名（前年度 4,355名）
新宿区・中野区成人病健康診査	767名（前年度 668名）
合計	26,046名（前年度 26,485名）

### ②種目別内訳とその適用患者数

国民健康保険	8,907名（前年度 8,872名）
社会保険（政府管掌）	1,489名（前年度 1,580名）
社会保険組合管掌）	9,040名（前年度 9,083名）
社会保健（その他）	524名（前年度 462名）
自費	175名（前年度 177名）
職域入社・定期健診	3,929名（前年度 4,355名）
新宿区・中野区成人病健康診査	767名（前年度 668名）
合計	24,831名（前年度 25,197名）

## II 管理・運営事項

### 1. 理事会・評議員会の開催

①開催日 平成21年 5月26日（火）

場 所 日本橋三越本店会議室（日本橋三越本店新館13階）

#### <評議員会>

- 議 題 第1号議案 平成20年度事業報告書及び決算に係る正味財産増減計算書、貸借対照表、キャッシュフロー計算書、財産目録並びに収支計算書案審議の件
- 第2号議案 新公益財団法人への移行申請の件

#### <理事会>

- 議 題 第1号議案 平成20年度事業報告書及び決算に係る正味財産増減計算書、貸借対照表、キャッシュフロー計算書、財産目録並びに収支計算書案承認の件
- 第2号議案 新公益財団法人への移行申請の件

②開催日 平成21年 8月25日（火）

場 所 日本橋三越本店会議室（日本橋三越本店新館13階）

#### <評議員会>

- 議 題 第1号議案 新公益財団法人への移行申請の件

#### <理事会>

- 議 題 第1号議案 新公益財団法人への移行申請の件

- ③開催日 平成21年12月3日(木)  
場 所 日本橋三越本店会議室(日本橋三越本店新館13階)  
<評議員会>  
議 題 第1号議案 新公益財団法人移行に伴う最初の評議員選任方法の件  
(審議事項) 新公益財団法人移行に伴う定款変更(案)の中間審議  
<理事会>  
議 題 第1号議案 新公益財団法人移行に伴う最初の評議員選任方法の件  
(審議事項) 新公益財団法人移行に伴う定款変更(案)の中間審議

- ④開催日 平成22年 3月18日(木)  
場 所 日本橋三越本店会議室(日本橋本店新館13階)  
<評議員会>  
議 題 第1号議案 平成22年度 事業計画案及び収支予算案審議の件  
第2号議案 公益財団法人移行認定後の最初の評議員候補者推薦の件  
<理事会>  
議 題 第1号議案 平成22年度事業計画案及び収支予算案承認の件  
第2号議案 公益財団法人移行認定後の最初の評議員候補者推薦の件

## 2. 公益財団法人移行認定関連

- ①「最初の評議員の選任方法に係る認可申請書」を東京都生活文化スポーツ局都民生活部管理法人課  
へ平成21年12月15日に提出。平成22年12月18日認可を受ける。

### ②最初の評議員選定委員会の開催

- 開催日 平成22年 3月19日(金)  
場 所 エステック情報ビル21階 E会議室  
出席者 評議員選定委員会 委員5名  
議 題 公益財団法人移行認定後における最初の評議員選任の件

## 3. 報告事項

- ①外部監査実施 実施日:平成21年 5月11日(月)～13日(水)  
監査人:アーク監査法人  
実施日:平成21年 9月24日(木)～25日(金)  
監査人:アーク監査法人  
実施日:平成22年 2月24日(水)～26日(金)  
監査人:アーク監査法人  
②源泉所得税調査 実施日:平成22年 2月 2日(火)～ 4日(木)  
実施人:新宿税務署

平成21年 4月 1日から  
平成22年 3月31日まで

平成21年度（第63年度）

収 支 計 算 書

財団法人 三越厚生事業団

# 収支計算書総括表

平成21年4月 1日から平成22年3月31日まで

(単位:円)

科 目	合計	一般会計	特別会計	内部取引消去
<b>I 事業活動収支の部</b>				
1. 事業活動収入				
① 基本財産運用収入	191,349,648	191,349,648	0	0
② 特定資産運用収入	7,645,989	7,645,989	0	0
③ 事業収入	649,773,256	423,476,034	226,297,222	0
④ 雑収入	4,604,818	3,450,338	1,154,480	0
⑤ 他会計からの繰入金収入	0	2,609,202	0	△ 2,609,202
事業活動収入計	853,373,711	628,531,211	227,451,702	△ 2,609,202
2. 事業活動支出				
① 研究事業費支出	4,156,683	4,156,683	0	0
② 低額集団健診事業費支出	458,837,956	458,837,956	0	0
③ 健診報告懇話会事業費支出	524,732	524,732	0	0
④ 健診推進事業研究援助費支出	0	0	0	0
⑤ 助成事業費支出	12,264,819	12,264,819	0	0
⑥ 健康保持増進援助事業費支出	0	0	0	0
⑦ 保健衛生思想普及事業費支出	18,052,820	18,052,820	0	0
⑧ 管理費支出	88,089,049	88,089,049	0	0
⑨ 診療事業費支出	222,480,672	0	222,480,672	0
⑩ 法人税等	656,000	0	656,000	0
事業活動支出計	805,062,731	581,926,059	223,136,672	0
事業活動収支差額	48,310,980	46,605,152	4,315,030	△ 2,609,202
<b>II 投資活動収支の部</b>				
1. 投資活動収入				
① 特定資産取崩収入	244,297,025	244,297,025	0	0
投資活動収入計	244,297,025	244,297,025	0	0
2. 投資活動支出				
① 特定資産取得支出	177,400,000	177,400,000	0	0
② 固定資産取得支出	60,600,500	60,600,500	0	0
③ 他会計への繰入金支出	0	0	2,609,202	△ 2,609,202
投資活動支出計	240,609,702	238,000,500	2,609,202	0
投資活動収支差額	3,687,323	6,296,525	△ 2,609,202	0
<b>III 財務活動収支の部</b>				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	0
2. 財務活動支出				
①リース債務返済支出	4,471,542	2,765,714	1,705,828	0
財務活動支出計	4,471,542	2,765,714	1,705,828	0
財務活動収支差額	△ 4,471,542	△ 2,765,714	△ 1,705,828	0
<b>IV 予備費支出</b>				
当期収支差額	50,135,963	50,135,963	0	0
前期繰越収支差額	164,610,126	17,453,054	147,157,072	0
次期繰越収支差額	214,746,089	67,589,017	147,157,072	0

# 収支計算書

平成21年4月 1日から平成22年3月31日まで

一般会計

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
<b>I 事業活動収支の部</b>				
<b>1. 事業活動収入</b>				
① 基本財産運用収入	136,678,000	191,349,648	△ 54,671,648	
基本財産配当収入	136,678,000	191,349,648	△ 54,671,648	10円⇒14円
② 特定資産運用収入	8,270,000	7,645,989	624,011	
特定資産利息収入	8,270,000	7,645,989	624,011	
③ 事業収入	410,000,000	423,476,034	△ 13,476,034	
低額集団健診事業収入	410,000,000	423,476,034	△ 13,476,034	
集団健診事業収入	398,400,000	412,503,534	△ 14,103,534	受診者数増加
産業医委嘱収入	11,600,000	10,972,500	627,500	
④ 雑収入	6,272,000	3,450,338	2,821,662	
利息収入	12,000	347	11,653	
投資有価証券運用収入	6,000,000	3,227,549	2,772,451	円高による外債の利金減少
雑収入	260,000	222,442	37,558	
⑤ 他会計からの繰入金収入	11,260,000	2,609,202	8,650,798	診療収入減
<b>事業活動収入計</b>	<b>572,480,000</b>	<b>628,531,211</b>	<b>△ 56,051,211</b>	
<b>2. 事業活動支出</b>				
① 研究事業費支出	4,249,653	4,156,683	92,970	
研究費支出	373,699	358,489	15,210	(注1)
学会費支出	1,142,304	1,142,304	0	(注2)
諸会費支出	1,022,300	1,022,300	0	(注1)
旅費交通費支出	500,000	429,324	70,676	
研修会謝礼金支出	166,665	166,665	0	(注1)
通信費支出	10,000	2,916	7,084	
消耗品費支出	17,394	17,394	0	(注1)
印刷製本費支出	19,942	19,942	0	(注1)
図書購入費支出	880,443	880,443	0	(注2)
雑支出	116,906	116,906	0	(注2)
② 低額集団健診事業費支出	462,477,967	458,837,956	3,640,011	
給料手当支出	129,084,144	129,084,144	0	(注3)
基準外給料支出	1,274,747	1,274,747	0	(注4)
賞与支出	38,337,000	38,337,000	0	(注3)
臨時雇賃金支出	15,618,856	15,420,000	198,856	(注3)
退職給付支出	2,070,000	2,070,000	0	(注5)
福利厚生費支出	28,861,550	28,610,242	251,308	(注6)
旅費交通費支出	5,868,450	5,868,450	0	(注6)
通信費支出	2,625,346	2,625,346	0	(注4)
業務委託費支出	1,155,668	1,155,668	0	(注4)
什器備品費支出	4,925,717	4,925,717	0	(注7)
割賦・機器リース料支出	30,630,201	29,930,586	699,615	(注7)
支払利息支出	264,082	264,082	0	(注7)
消耗品費支出	12,625,013	12,625,013	0	(注4)
検査・材料費支出	63,364,484	63,364,484	0	(注4)
修繕費支出	15,320,000	13,057,171	2,262,829	
印刷製本費支出	5,288,905	5,288,905	0	(注4)
水道光熱費支出	4,560,000	4,351,737	208,263	
借室料支出	64,400,000	64,390,464	9,536	
火災保険料支出	106,903	106,903	0	(注4)



科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
租税公課支出	10,496,217	10,496,217	0	(注4)
共益費支出	20,650,000	20,648,496	1,504	
清掃費支出	930,000	921,900	8,100	
雑支出	4,020,684	4,020,684	0	(注4)
③ 健診報告懇話会事業費支出	1,000,000	524,732	475,268	
会場費支出	800,000	521,100	278,900	
講演謝礼金支出	60,000	0	60,000	
旅費交通費支出	800	800	0	(注8)
通信費支出	9,200	0	9,200	(注8)
雑支出	130,000	2,832	127,168	
④ 健康推進事業研究援助費支出	0	0	0	
研究援助費支出	0	0	0	
旅費交通費支出	0	0	0	
印刷製本費支出	0	0	0	
通信費支出	0	0	0	
雑支出	0	0	0	
⑤ 助成事業費支出	13,932,380	12,264,819	1,667,561	
医学研究助成金支出	9,332,380	9,000,000	332,380	(注2)(注4) 選考による助成対象者減
渡航助成金支出	3,000,000	2,000,000	1,000,000	
助成選考謝礼金支出	565,864	565,864	0	(注9)
旅費交通費支出	10,000	0	10,000	
印刷製本費支出	210,650	210,650	0	(注9)
通信費支出	90,000	69,100	20,900	
雑支出	723,486	419,205	304,281	(注9)
⑥ 健康保持増進援助事業費支出	0	0	0	
援助費支出	0	0	0	
協賛援助費支出	0	0	0	
旅費交通費支出	0	0	0	
雑支出	0	0	0	
⑦ 保健衛生思想普及事業費支出	19,000,000	18,052,820	947,180	
セミナー費支出	15,280,000	14,807,721	472,279	
広報費支出	1,741,151	1,266,250	474,901	(注10)
通信費支出	501,619	501,619	0	(注10)
印刷製本費支出	1,438,500	1,438,500	0	(注10)
雑支出	38,730	38,730	0	(注10)
⑧ 管理費支出	90,413,242	88,089,049	2,324,193	
役員報酬支出	27,631,000	27,631,000	0	(注11)
給料手当支出	14,696,900	14,696,900	0	(注11)
基準外給料支出	620,000	172,968	447,032	
賞与支出	4,580,000	3,973,000	607,000	
臨時雇賃金支出	2,520,000	2,255,000	265,000	
福利厚生費支出	5,480,000	5,027,161	452,839	
会議費支出	1,656,244	1,656,244	0	(注11)
旅費交通費支出	1,458,730	1,458,730	0	(注11)
交際費支出	866,106	866,106	0	(注11)
通信費支出	751,285	751,285	0	(注11)
什器備品費支出	240,000	30,100	209,900	
割賦・機器リース料支出	940,000	639,099	300,901	
消耗品費支出	1,432,047	1,432,047	0	(注11)
修繕費支出	1,260,027	1,260,027	0	(注11)
印刷製本費支出	1,796,547	1,796,547	0	(注11)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
水道光熱費支出	600,000	565,745	34,255	
借室料支出	10,660,000	10,653,708	6,292	
業務委託費支出	7,578,722	7,578,722	0	(注12)
火災保険料支出	30,633	30,633	0	(注11)
租税公課支出	512,610	512,610	0	(注11)
共益費支出	2,720,000	2,719,026	974	
清掃費支出	157,500	157,500	0	(注11)
雑支出	2,224,891	2,224,891	0	(注11)(注12)
事業活動支出計	591,073,242	581,926,059	9,147,183	
事業活動収支差額	△ 18,593,242	46,605,152	△ 65,198,394	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
① 特定資産取崩収入	20,000,000	244,297,025	△ 224,297,025	
退職給付引当資産取崩収入	2,000,000	0	2,000,000	取崩し発生せず
減価償却引当資産取崩収入	18,000,000	244,297,025	△ 226,297,025	
減価償却引当預金取崩収入	0	61,483,025	△ 61,483,025	5階空調工事、MMG購入
減価償却引当債券取崩収入	18,000,000	182,814,000	△ 164,814,000	日本高速道路・新生銀行債売却
投資活動収入計	20,000,000	244,297,025	△ 224,297,025	
2. 投資活動支出				
① 特定資産取得支出	2,000,000	177,400,000	△ 175,400,000	
退職給付引当資産取得支出	2,000,000	0	2,000,000	取得支出発生せず
減価償却引当資産取得支出	0	177,400,000	△ 177,400,000	
減価償却引当預金取得支出	0	100,000,000	△ 100,000,000	空調工事、MMG購入の一部として積み増し
減価償却引当債券購入支出	0	77,400,000	△ 77,400,000	新生銀行劣後債購入
② 固定資産取得支出	18,000,000	60,600,500	△ 42,600,500	
建物造作建設支出	14,000,000	0	14,000,000	取得支出発生せず
建物付属設備購入支出	0	23,000,000	△ 23,000,000	5階空調設備改善工事
器具備品購入支出	4,000,000	37,600,500	△ 33,600,500	MMG購入
投資活動支出計	20,000,000	238,000,500	△ 218,000,500	
投資活動収支差額	0	6,296,525	△ 6,296,525	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
①リース債務返済支出	0	2,765,714	△ 2,765,714	
リース債務返済支出	0	2,765,714	△ 2,765,714	
財務活動支出計	0	2,765,714	△ 2,765,714	
財務活動収支差額	0	△ 2,765,714	2,765,714	
IV 予備費支出	118,758	-	118,758	(注5)(注12)
当期収支差額	△ 18,712,000	50,135,963	△ 68,847,963	
前期繰越収支差額	18,712,000	17,453,054	1,258,946	
次期繰越収支差額	0	67,589,017	△ 67,589,017	

収支計算書(一般会計)に対する注記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収入金、貯蔵品、前払費用、買掛金、未払金、未払消費税等、預り金を含めている。  
 なお、前期末及び当期末残高は下記2に記載のとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳 (単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	△ 2,399,644	62,847,885
未収入金	35,847,191	26,326,619
貯蔵品	569,885	474,706
前払費用	8,696,181	9,179,919
小計	42,713,613	98,829,129
買掛金	4,331,459	5,902,059
未払金	16,326,839	20,021,981
未払消費税等	1,793,136	2,832,987
預り金	2,809,125	2,483,085
小計	25,260,559	31,240,112
次期繰越収支差額	17,453,054	67,589,017

3 科目間の流用及び予備費の使用について

(1) 科目間の流用(注1~)

(注1) 予算科目のうち研究事業費支出-研究費支出より126,301円を研究事業費支出-諸会費支出、研修会謝礼金支出、消耗品費支出、印刷製本費支出へ流用した。

科 目	当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
研究事業費支出-諸会費支出	1,000,000	22,300	1,022,300
研究事業費支出-研修会謝礼金支出	90,000	76,665	166,665
研究事業費支出-消耗品費支出	10,000	7,394	17,394
研究事業費支出-印刷製本費支出	0	19,942	19,942
研究事業費支出-研究費	500,000	△126,301	373,699

(注2) 予算科目のうち助成事業費支出-医学研究助成金支出より549,653円を研究事業費支出-学会費支出、図書購入費支出、雑支出へ流用した。

科 目	当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
研究事業費支出-学会費支出	900,000	242,304	1,142,304
研究事業費支出-図書購入費支出	600,000	280,443	880,443
研究事業費支出-雑支出	90,000	26,906	116,906
助成事業費支出-医学研究助成金支出	20,000,000	△549,653	19,450,347

(注3) 予算科目のうち低額集団健診事業費支出-臨時雇賃金費支出より10,221,144円、低額集団健診事業費支出-賞与支出より2,803,000円を低額集団健診事業費支出-給与手当支出へ流用した。

科 目	当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
低額集団健診事業費支出-給与手当支出	116,060,000	13,024,144	129,084,144
低額集団健診事業費支出-臨時雇賃金支出	25,840,000	△10,221,144	15,618,856
低額集団健診事業費支出-賞与支出	41,140,000	△2,803,000	38,337,000

(注4) 予算科目のうち助成事業費支出-医学研究助成金支出より10,117,967円を低額集団健診事業費-基準外給料支出、通信費支出、業務委託費支出、消耗品費支出、検査材料費支出、印刷製本費支出、火災保険料支出、租税公課費支出、雑支出へ流用した。

科 目	当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
低額集団健診事業費支出-基準外給料支出	800,000	474,747	1,274,747
低額集団健診事業費支出-通信費支出	2,510,000	115,346	2,625,346
低額集団健診事業費支出-業務委託費支出	0	1,155,668	1,155,668
低額集団健診事業費支出-消耗品費支出	10,650,000	1,975,013	12,625,013
低額集団健診事業費支出-検査材料費支出	60,110,000	3,254,484	63,364,484
低額集団健診事業費支出-印刷製本費支出	4,060,000	1,228,905	5,288,905
低額集団健診事業費支出-火災保険料支出	100,000	6,903	106,903
低額集団健診事業費支出-租税公課費支出	9,300,000	1,196,217	10,496,217
低額集団健診事業費支出-雑支出	3,310,000	710,684	4,020,684
助成事業費支出-医学研究助成金支出	19,450,347	△10,117,967	9,332,380

(注5) 予算科目のうち予備費より2,070,000円を低額集団健診事業費-退職給付支出へ流用した。

科 目	当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
低額集団健診事業費支出—退職給付支出	0	2,070,000	2,070,000
予備費—退職給付支出	6,922,000	△2,070,000	4,852,000

(注6) 予算科目のうち低額集団健診事業費支出—福利厚生費支出より618,450円を低額集団健診事業費支出—旅費交通費支出へ流用した。

科 目	当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
低額集団健診事業費支出—旅費交通費支出	5,250,000	618,450	5,868,450
低額集団健診事業費支出—福利厚生費支出	29,480,000	△618,450	28,861,550

(注7) 予算科目のうち低額集団健診事業費支出—割賦・機器リース料支出より4,829,799円を低額集団健診事業費支出—什器・備品費支出—支払利息支出へ流用した。

科 目	当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
低額集団健診事業費支出—什器・備品費支出	360,000	4,565,717	4,925,717
低額集団健診事業費支出—支払利息支出	0	264,082	264,082
低額集団健診事業費支出—割賦・機器リース料支出	35,460,000	△4,829,799	30,630,201

(注8) 予算科目のうち健診報告懇話会事業費支出—通信費支出より800円を健診報告懇話会事業費支出—旅費交通費へ流用した。

科 目	当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
健診報告懇話会事業費支出—旅費交通費支出	0	800	800
健診報告懇話会事業費支出—通信費支出	10,000	△800	9,200

(注9) 予算科目のうち助成事業費支出—雑支出より116,514円を助成事業費支出—助成選考謝礼金支出、印刷製本費支出へ流用した。

科 目	当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
助成事業費支出—助成選考謝礼金支出	560,000	5,864	565,864
助成事業費支出—印刷製本費支出	100,000	110,650	210,650
助成事業費支出—雑支出	840,000	△116,514	723,486

(注10) 予算科目のうち保健衛生思想普及事業費支出—広報費支出より618,849円、保健衛生思想普及事業費支出—通信費、印刷製本費支出、雑支出へ流用した。

科 目	当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
保健衛生思想普及事業費支出—通信費支出	110,000	391,619	501,619
保健衛生思想普及事業費支出—印刷製本費支出	1,240,000	198,500	1,438,500
保健衛生思想普及事業費支出—雑支出	10,000	28,730	38,730
保健衛生思想普及事業費支出—広報費支出	2,360,000	△618,849	1,741,151

(注11) 予算科目のうち管理費支出—雑支出より3,799,629円を管理費支出—役員報酬支出、給与手当支出、旅費交通費、会議費支出、交際費支出、通信費支出、消耗品費支出、修繕費支出、印刷製本費支出、火災保険料支出、租税公課支出、清掃費支出へ流用した。

科 目	当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
管理費支出—役員報酬支出	26,900,000	731,000	27,631,000
管理費支出—給与手当支出	14,550,000	146,900	14,696,900
管理費支出—会議費支出	860,000	796,244	1,656,244
管理費支出—旅費交通費支出	1,380,000	78,730	1,458,730
管理費支出—交際費支出	810,000	56,106	866,106
管理費支出—通信費支出	600,000	151,285	751,285
管理費支出—消耗品費支出	800,000	632,047	1,432,047
管理費支出—修繕費支出	750,000	510,027	1,260,027
管理費支出—印刷製本費支出	1,160,000	636,547	1,796,547
管理費支出—火災保険料支出	30,000	633	30,633
管理費支出—租税公課支出	480,000	32,610	512,610
管理費支出—清掃費支出	130,000	27,500	157,500
管理費支出—雑支出	8,870,000	△3,799,629	5,070,371

(注12) 予算科目のうち管理費支出—雑支出より2,845,480円、予備費より4,733,242円を管理費支出—業務委託費支出へ流用した。

科 目	当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
管理費支出—業務委託費支出	0	7,578,722	7,578,722
管理費支出—雑支出	5,070,371	△2,845,480	2,224,891
予備費	4,852,000	△4,733,242	118,758

# 収支計算書

平成21年4月 1日から平成22年3月31日まで

特別会計

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 事業収入	240,000,000	226,297,222	13,702,778	
診療報酬収入	240,000,000	226,297,222	13,702,778	受診者数減少
② 雑収入	0	1,154,480	△ 1,154,480	
事業活動収入計	240,000,000	227,451,702	12,548,298	
2. 事業活動支出				
① 診療事業費支出	228,740,000	222,480,672	6,259,328	
給料手当支出	71,720,000	65,675,705	6,044,295	
基準外給料支出	1,530,000	3,399,781	△ 1,869,781	
賞与支出	23,530,000	22,239,000	1,291,000	
臨時雇賃金支出	22,070,000	19,145,915	2,924,085	
退職給付支出	0	355,000	△ 355,000	
福利厚生費支出	17,800,000	15,416,669	2,383,331	
旅費交通費支出	1,850,000	2,212,360	△ 362,360	
通信費支出	300,000	281,422	18,578	
什器備品費支出	240,000	1,562,950	△ 1,322,950	
割賦・機器リース料支出	12,260,000	10,599,672	1,660,328	
支払利息支出	0	101,264	△ 101,264	
消耗品費支出	3,430,000	3,179,489	250,511	
修繕費支出	3,320,000	2,986,167	333,833	
検査・材料費支出	11,700,000	11,078,338	621,662	
薬品費支出	10,000,000	9,679,361	320,639	
印刷製本費支出	920,000	783,979	136,021	
水道光熱費支出	2,170,000	2,163,131	6,869	
借室料支出	32,020,000	32,006,640	13,360	
業務委託費支出	0	6,053,753	△ 6,053,753	新設(外部委託)
火災保険料支出	50,000	106,901	△ 56,901	
租税公課支出	1,680,000	1,751,473	△ 71,473	
共益費支出	10,270,000	10,263,768	6,232	
清掃費支出	930,000	926,100	3,900	
雑支出	950,000	511,834	438,166	
② 他会計への繰入金支出	11,260,000	0	11,260,000	
一般会計への繰入金支出	11,260,000	0	11,260,000	
③ 法人税等	0	656,000	△ 656,000	
法人税・都民税支出	0	656,000	△ 656,000	
事業活動支出計	240,000,000	223,136,672	16,863,328	
事業活動収支差額	0	4,315,030	△ 4,315,030	

科目	予算額	決算額	差異	備考
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
① 特定資産取崩収入	1,000,000	0	1,000,000	
退職給付引当資産取崩収入	1,000,000	0	1,000,000	
投資活動収入計	1,000,000	0	1,000,000	
2. 投資活動支出				
① 特定資産取得支出	1,000,000	0	1,000,000	
退職給付引当資産取得支出	1,000,000	0	1,000,000	
② 他会計への繰入金支出	0	2,609,202	△ 2,609,202	
一般会計への繰入金支出	0	2,609,202	△ 2,609,202	
投資活動支出計	1,000,000	2,609,202	△ 1,609,202	
投資活動収支差額	0	△ 2,609,202	2,609,202	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
①リース債務返済支出	0	1,705,828	△ 1,705,828	
リース債務返済支出	0	1,705,828	△ 1,705,828	
財務活動支出計	0	1,705,828	△ 1,705,828	
財務活動収支差額	0	△ 1,705,828	1,705,828	
IV 予備費支出	0	-	0	
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	147,157,000	147,157,072	△ 72	
次期繰越収支差額	147,157,000	147,157,072	△ 72	

収支計算書(特別会計)に対する注記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収入金、貯蔵品、前払費用、買掛金、未払金、未払消費税等、未払法人税等を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は下記2に記載のとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳 (単位:円)

科 目				前期末残高	当期末残高				
現	金	預	金	129,634,890	130,970,983				
未	収	入	金	21,419,858	21,889,091				
貯		蔵	品	505,424	366,777				
前	払	費	用	3,764,598	3,656,528				
小			計	155,324,770	156,883,379				
買		掛	金	1,335,736	1,097,427				
未		払	金	6,005,698	7,440,667				
未	払	消	費	税	等	336,864	532,213		
未	払	法	人	税	等	489,400	656,000		
小			計	8,167,698	9,726,307				
次	期	繰	越	収	支	差	額	147,157,072	147,157,072